

日本語教育史研究会

2025 年度研究発表会



2026 年 1 月 26 日
日本語教育史研究会運営委員会

会員以外の方のご参加歓迎！参加費は**無料**です。
多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時:2026 年 3 月 7 日(土) 13:00~17:00 ※総会 12:30~
開催方法:Zoom によるオンライン開催(申込者に 3 月 5 日(木)までに Zoom リンクを発送)
申込:3 月 4 日(水)までに下記のグーグルフォームから必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/tfEv3oUtByZDg7w17>



申し込み QR コード

研究発表

※都合により 1 月 22 日公開のプログラムから研究発表順を変更しております。

- 戦時下における中国華北地区の小学校で展開された日本語教育に関する一考察
— 傀儡政権編纂教科書『小学日本語読本』の分析を通して—
陳芸謀 (天津外国語大学大学院生)
- 山口喜一郎の台湾
泉史生 (ヒューマンアカデミー)
- カンボジアにおける日本語教師の直面した困難と葛藤
— 『カンボジア日本語教育小史:現地にいた一人一人の記録』から
細井駿吾 (東京国際大学)
- 土居光知 (1933) 『基礎日本語』における語彙選定方法
— C. K. Ogden の Basic English との比較を中心に—
服部一宏 (名古屋大学大学院生)
- 日本語アカデミック・ライティングにおける内容面の評価
— 教科書分析にみる歴史的考察 —
安達万里江 (法政大学)
- 日本語教育史を学ぶことの意義と課題 —日本とマレーシアの学習者の比較から
松永典子 (JICA 九州センター) ・ 檜山純子 (Universiti Tun Hussein Onn Malaysia)

ライトニングトーク

- 中国での日本語学科の教育 — 「専門八級」を解いてみる—
光多隆之介 (神奈川大学大学院生)

※詳細はホームページ掲載のプログラムをご確認ください。 (<https://nihongo2020.wixsite.com/nihongo>)

問い合わせ: 日本語教育史研究会事務局 (nihongokyoikushikenkyukai@gmail.com)